

令和4年度かさまつ子どもまちづくり会議 実施報告書

1. 事業概要

1-1. 目的

児童生徒が、笠松町のまちづくりに興味関心を持ってもらい、現状のまちづくりに対する課題や解決策を検討し、それを行政へ提言するとともに、児童生徒ならではの意見を取り入れることによって、町の更なる発展を目指すことを目的とする。

1-2. 町長の講話

町長より、4月下旬に町立小中学校(4校)の対象学年(小学校5・6年生、中学校1・2年生)に対して、当該事業の趣旨説明及び参加者募集に関する呼びかけを行った。

1-3. 対象者・参加者

対象学年へ募集チラシを配布し、参加者を募った。応募者は、合計19名あり、全員を「かさまつ子どもまちづくり委員」と呼ぶこととした。

小学校 5年生 5名、6年生 7名 計12名

中学校 1年生 6名、2年生 1名 計7名

1-4. 実施期間及び会場

令和4年6月から11月までに「かさまつ子どもまちづくり会議」を7回開催し、12月に発表会を行った。いずれも休日や夏休み中に実施し、会場は笠松中央公民館・こども館を会場とした。

1-5. 実施内容

初回の会議では、全体の会議の目標を「自慢できる笠松町にする」と定めた。その後、3つの班に分けて、班ごとに町の若手職員を配置し、目標に向けた話し合いを7回重ねた。各班で町へ提言したい発表テーマを1つに絞り、かさまつ子どもまちづくり委員が主体となって、現地へ出向き、写真撮影や利用者へインタビューを取るなど現状把握、課題を抽出し対策を分析した。12月には、役場の議場で班ごとに町長や町議会議員へ提言し、各班とも立派に発表することができた。

2. 各会議の内容

下記のとおり、各会議の概要等を説明する。

第1回(6月26日) キックオフ

応募のあった「かさまつ子どもまちづくり委員」19名へ、当該事業の趣旨説明を行った。テーマとして、「笠松町を『自慢できる町』にする」と決定し、参加者全員で自己紹介やゲームを通じて交流を深めた。また、3つの班を作り、町へ提案したいことを話し合った。

第2回(7月17日)

班ごとに、町へ提案したいことを分類ごとに書き出し、発表テーマを決定した。テーマに沿った課題や調べてみたいことなどを話し合った。

<発表テーマ>

A 班:歴史謎解きスタンプラリー

B 班:公園について

C 班:道路について

第3回(7月31日・8月4日・8月6日)

各班で現地に視察へ行った。また、笠松交番長や担当職員から交通安全について講話を聴いた。

A 班:歴史未来館へ視察

B 班:運動公園・みなと公園へ視察

C 班:交通安全についての講話

第4回(8月21日)

発表に向けてのルールを確認し、発表イメージを持った。また、発表ストーリーを考える中で、町民の生の声や写真を挿入するため、次回は現地場所へ行って材料集めをしたいという意見が出た。

A 班・C 班 写真撮影(9月10日)

A 班は、スタンプラリーを行う場所での写真撮影や、スタンプラリーのルートを確認した。C 班は、道路の危険箇所へ行き、道路状況の確認や写真撮影を行った。

第5回(9月18日)・B班 写真撮影 @こども館

B班は、運動公園へ行き、写真撮影と利用者へインタビューを行った。各班とも、発表資料の作成に取りかかった。班の中で役割分担を決定し、各自がタブレットを使って作成した。

第6回(10月16日)

前回に続いて発表資料を作成した。次回が発表リハーサルのため、今回で完成させる意気込みで取り組んだ。

第7回(11月23日) @役場議場

発表会までの最後の「まちづくり会議」。当日に向けて、本番さながらリハーサルをして、最終調整を行った。

3. 子どもまちづくり会議発表会

3-1. 開催日時

令和4年12月4日(日) 午前10時 ~ 11時10分

3-2. 開催場所

笠松町役場 4階議場

3-3. 出席者

- ・子どもまちづくり委員 17名 (2名欠席)
- ・子どもまちづくり委員保護者 15名
- ・町議会議員 9名
- ・羽島郡二町教育委員会 教育長・社会教育課長 2名
- ・学校関係者 (校長先生・担任教諭) 7名

3-4. 次第

- ①これまでの活動紹介
町教育文化課より、プログラム表に沿って説明
- ②各班発表
1番目: B班「公園について」
2番目: C班「道路について」
3番目: A班「歴史謎解きスタンプラリー」
- ③講評

古田町長

素晴らしい提案でした。一生懸命皆さんが考えてくれたことに心を打たれました。それでは、各班について講評をします。

まず、B班は公園を取り上げてくれました。現地調査をして、利用者へインタビューをして、しっかり現状と課題を分析したことは素晴らしいと思います。皆さんが提案してくれたことは、議員の皆さんと相談しながら、できることから進めていきたいと思います。

次にC班は道路を取り上げてくれました。交通安全は、安全安心のまちづくりの基本であり、警察や地域の方と協力しながら、日々努めています。この提言を聞いて、まだまだ不足していることが多くあるということを改めて認識しました。今後は、皆さんの意見を参考にしながら、今まで以上に安全な道路づくりをしていきたいと思います。

最後にA班です。笠松町の多くの町民が自慢したいのは歴史と文化だと思います。ただ、皆さんが提案してくれたとおり、町民であってもなかなか名所や歴史を知らないのが現状です。スタンプラリーのような、遊びながら楽しみながら実際に町を歩いて自分たちの目で見て知ることはとても大事なことです。これからも笠松町をPRするための方法を提言してもらい、皆さん自身も歴史と文化に誇りを持ってください。

笠松町の未来は皆さんにかかっています。自慢できる笠松町にするには、皆さんの力がが必要です。今日は本当にありがとうございました。

川島町議会議長

まずA班の皆さんは、笠松町に自慢できる歴史や文化があるということを認識していることが分かり、これはすごく大事なことだと思いました。普段から学校や地域の人が教えてくれていることが分かります。

次にB班ですが、運動公園は自慢できる公園であることを認識しており、だからもっとより良い公園にしたいことが分かりました。

最後にC班ですが、マイナス部分をプラスへどのようにしていくか、少しアプローチが他の班とは違うなと思いました。一生懸命考えてくれた内容だと思います。

最後に全体的に話します。これから大人になっていくうえで、プレゼン力が求められます。これは最も大事な力になりますので、今回の経験はとてもいい勉強になったのではないかと思います。今後は、遠くへ遊びに行ったときに、いろいろな街のことを比較してみてください。関心を持って見て確かめてください。そして、将来ぜひ笠松町を背負ってくださいね。

野原教育長

素晴らしい提案をしてくれたことにお礼を言います。

まず、この会議に参加してくれたことが、すごいこと、素晴らしいことです。それでは私から5点講評します。

1点目、笠松町を自分たちの視点で見つめられたこと 2点目、問題意識があったこと、3点

目、皆さんの願いがあり、現場はどうなのか、自分の目で確かめて感じ取れたこと、4点目、どのようにしていけばよいか議論して1つの対策にしたこと、5点目、分かりやすくまとめて提案してくれたこと、以上5つの点が素晴らしく思いました。

最後に、校内放送で自分たちはこのまちづくり会議で笠松町のことをこのように考えました、皆さんもこの会議に参加しませんか、ということ PR してほしいなと思います。校長先生方、ぜひ実現できるよう協力をしてください。

④感謝状・記念品贈呈

古田町長より、各班長へ感謝状と記念品を贈呈した。

4. 新聞掲載・テレビ放映

上記3の発表会の様子や、これまでの取り組み内容について、岐阜新聞・中日新聞に掲載されたことに加え、CCNケーブルテレビで放映された。

5. 参加者の声（この事業の全体的な意見や発表会の感想等）

5-1. 子どもまちづくり委員

まちづくり会議は大変だったけど、最後の発表が終わるとやり切ったという気持ちがあった、参加してみてよかった。
まとめたりすることが少し大変だったこともあったけど、発表をしてみてすごい楽しかったので、やってよかったなと思いました。良い取組だと感じました。
違う学校の人たちと交流することができて、とても楽しかった。
笠松町には、自慢できること、これから自慢することがたくさんあるということが分かりました。
どうしたら改善できるのか考えることは難しかったけど、班の人たちと協力してできたことが楽しかったです。半年間、あっという間で時間が足りないと思ったことがあったけど、発表までにしっかりまとめられてよかったです。
提案するとき、議場で発表できたのがいい経験になった。実際に話を聞いたり、現場に行つて写真を撮ったりできて、今の笠松町の現状を知れてよかった。班長として、班員をまとめてプレゼンも積極的に作れたからよかった。
最初は、自分が良い意見をしっかり出せるのかと不安なところもあったけれど、回数を重ねるうちに、メンバーのみんなとの意見交流、協力などが増えて、楽しく取り組むことができ

た。自分の意見が町に反映されることはほぼないことなので、真剣に考えて話せてうれしかった。

始めと比べて興味がわいた、笠松町のこともっと知りたいと思うようになった。みんなもこのような気持ちになってほしいと思った。笠松力検定を受けてみたいと思った。

4-2. 保護者

地域を知ること、社会福祉を学ぶことは必要であり、笠松町という小さな単位だけでも、一人一人がもっと意識を持てるように町全体で取り組んでいただけたらと思う。自由参加の集まりだけではなく。

今回、長い期間をかけて子どもたちが一生懸命考えてくれたと思います。自分たちで参加して考えてくれて、とても頼もしいと思いました。全てを実現するのは難しいと分かっていますが、これがゴールではないと思うので、子どもたちががっかりしないようなまちづくりをよろしくお願いします。今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

どの班もとても分かりやすく発表されていました。議場での発表は子どもたちに良い経験ですが、とても上手に発表されていたので、町民の方に聞いていただける場があるといいと思いました。みなと公園の利用も考えていただけるとよいかと思います。

親の勧めで参加しましたが、一度も嫌がることなく参加できました。グループで作り上げることの楽しさ、考えること、気遣いなど学べたのではないかと思います。今後もこのような活動を続けていただきたいと思います。子どもたちを支えてくださり、感謝いたします。

4-3. 教職員

本校では、「自分事として考え、学ぶ子」を目指しています。笠松町民として当事者意識を持たせる素晴らしい取り組みで、「総合的な学習の時間」との連携ができると、もっと多くの子どもたちの意見が取り入れられると思いました。

子どもたちが今まで考えてきたこと、活動してきたことの成果を今日見ることができてよかったです。どのグループも課題をはっきりさせ、解決策を考えられたと思います。子どもたちの提案の中で実現可能なものがあれば実現してほしいと思いました。